



長野市立山王小学校

「居心地のよい」PTA活動の条件 ～100周年記念事業および犀北ブロック協議会を事例として～

1

学校紹介

山王小学校は長野市の中心市街地に位置する学校です。
東は長野駅善光寺口周辺から、西は旭山まで変化に富んだ学区です。

ビルに囲まれた学校ですが、すぐ西側を裾花川が流れ、また校章のデザインになっている白モクレンをはじめ、二百種以上の樹木や草花が生える自然豊かな学校です。

(山王小学校ホームページより)



令和6年度の重点目標

「感動」「探究」「対話」

(学校グランドデザインより)

2

研究テーマの背景



PTA活動をめぐる
世の中の「意見」

極端な「PTA廃止論」と
極端な「PTA推進論」
の「対立」がある



「2つの意見」を
超えた見方

「対立した意見」の
「中間」あたりを
模索できないかなあ



「居心地のよいPTA」とは？

少し楽な感じで
前例にとらわれることなく
「本音」で考えたいなあ

山王小100周年記念事業実行委員会	山王小学校PTA有志の皆さんがどういった「価値観」で100周年記念事業に関わっておられたのかを振り返ります
犀北ブロック協議会	各単P会長同士がどのようにしてブロック単位のボランティアコミュニティーを形成しておられたのか、その一連の「プロセス」を振り返ります
ヒアリング調査	各事例において、PTAの皆様方がもっておられた「想い」や「気持ち」を聞き取り調査により整理していきます



Aさん

01. 100周年事業で印象に残っておられる経験は何ですか？

とにかく楽しかった。
記念事業での「子どものまなざし」が最高で、携わっていることに「幸福感」を感じました。

02. お仕事やご家庭など、ご多忙な中でも関わっておられた秘訣は？

様々な記念事業の内容がありますが、得意分野を発揮できる内容だったことですね。私の担当は、仕事のスキルを活かせる事業でした。そういった自分の「好き」を使って、そのまま学校に「貢献」できるのがよかったです。



Bさん

01. 100周年事業で印象に残っておられる経験は何ですか？

支えたこと・支えられたこと・地域の皆様方との「ご縁」ができたこと。

これはお金では買えない「無形ざいさん」です。

02. お仕事やご家庭など、ご多忙な中でも関わっておられた秘訣は？

先生方ではない立場で、地域の子どもたちに提供できる「ワクワク体験は何か」を考えていたからです。この100周年記念事業を通じて、「子どもたちが地域を知る機会」になってくれていたことの喜びが大きかった。

PTA活動の
原動力

PTA活動を通じて保護者様自身の人生を豊かにしている人たちがいること

新たな居場所

職場でもない、家庭でもない、第3の居場所コミュニティとして、地域の皆様方が集う場所になっていた



令和5年度の犀北ブロック協議会（山王小がブロック長担当）の コミュニティ形成プロセス

前年度

初対面

前年度に次年度の各単P会長様が一堂に会する。
お互いにとても「緊張している」印象もあったので、「ゆるいコミュニティ」にしようと考え始めた。

5月

初会議

前年度の形式にとらわれることなく、会のマネジメントを始める。
皆さん全員が会議の中で気軽に発言できる「ワールドカフェ」を導入。
会議後の懇親会の参加は各人が自由に意思決定し、お互いをリスペクト。

9月
11月
1月「ワールドカフェ」
方式の定着時期

【皆さんで「ワイワイガヤガヤ」話し合ったテーマ一覧】
①サステナブルなPTAとは？
②楽しいPTAとは？
③居心地のよいPTAとは？

夏・秋
冬不定期イベントを
ゆるく始める

「ワールドカフェ」を起点として、お互いに「気心の知れた間柄」となり、不定期で協議会以外でも「ゆるめに」集まり、「ワイガヤ」をするようになる。
各単P会長を終えた令和6年5月以降も不定期イベントは継続中。

犀北ブロック「ワールドカフェ」の実施事例（タイパ重視20分バージョン）



ステップ①

- ▶ 模造紙を用意します
- ▶ 付箋を用意します
- ▶ 模造紙の真ん中に話し合うテーマを記入します



ステップ②

- ▶ 各グループで6分おしゃべりします
- ▶ おしゃべりしたキーワードを付箋に記入し、模造紙に貼っていきます
- ▶ 6分後、一人を残して、他の人は別グループへ移動します



ステップ③

- ▶ 前グループが残した付箋を見ながら6分おしゃべりし、追加の付箋を貼ります。同じ内容の付箋をグルーピングします。
- ▶ 合計3セッションやります(6分×3回)
- ▶ 各グループの発表は行わず、楽に終わります



Cさん

01. 犀北ブロック協議会で印象に残っておられる経験は何ですか？

PTA会長としての「悩み」や「やりがい」をお互いに共有できて安心でした。懇親会ではなく、会議のワールドカフェで「本音」が言えることも楽でした。

02. 不定期イベントでは、どんなことが楽しみでいらっしゃいますか？

まずは「出入り自由」であることがよいと思います。気が向いたとき、予定が合うとき、久しぶりに参加したとき、いつでもウェルカムな感じがよいですね。普段のお互いの立場を離れて、素の人間同士の関わりが楽しみです。

研究成果：「居心地のよい」PTA活動の条件とは



自分らしさの発揮

リラックスした、ありのままの自分がリスペクトされた上で、PTA活動ができること



サードプレイスの

「家の自分」・「仕事の自分」とは異なる「もう一人の自分」らしさを発揮できるようなPTA活動の機会



ラウンドアバウト的

(環状交差点)

様々な人が行き交い、どのタイミングでPTA活動に入っても、スムーズに出入りができる拠点となる場所

以後の残された課題

CHANGE

①子どもたちの学びを支えるのは、私たち大人です。PTA活動も学びを支える大事なインフラ（基盤）だと思います。保護者様も先生方も地域の皆様方も、PTA活動の「前例踏襲」にこだわることなく、「当たり前」を疑いながら、いかにサステナブルなPTA活動ができるのかを真剣に議論していくことが大切なのではないでしょうか？

PTA会員のみんなで、持続可能な方法を「知恵出し」していく「文化」が創っていったら素敵だなと思います。

②PTA活動を通じて人生が豊かになれば理想的です。そういった大人の「後ろ姿」は子どもたちにとっても、良きロールモデル（模範）のひとつになると思います。普段のお仕事やご家庭でのお立場から、いい意味で「越境」していくのがPTA活動です。近年、注目されている「越境ラーニング」（いつもとは異なる環境に身を置くことで新たな気づきを得る学び）という角度から、PTA活動を捉え直していくと、ポストコロナにふさわしい見方や考え方が共有できるかもしれません。

*最後になりますが、日頃より、山王小学校をはじめ、犀北ブロックや長野県でPTA活動にご尽力をされておられる皆様方に、1人の保護者として感謝を申し上げまして、研究のご報告とさせていただきます。ありがとうございました。